

立神 粧子 氏

【略歴】

1981年 東京芸術大学音楽学部卒業

1984年 国際ロータリー財団の奨学生として、シカゴ大学大学院に留学

1988年 シカゴ大学大学院にて音楽学で修士号取得、博士課程のコースワーク修了

1988年 南カリフォルニア大学大学院へ特待入学

1991年 南カリフォルニア大学大学院にてピアノ演奏（共演ピアノ）で音楽芸術博士号取得

1993年 帰国後、フェリス女学院大学音楽学部および大学院音楽研究科の専任講師

～現在 フェリス女学院大学音楽学部および大学院音楽研究科教授、音楽芸術博士

<http://www.ferris.ac.jp/music/bio/m-04.html>

1985年 シカゴ・コンチェルト・コンペティション優勝

1988~91年 コルドフスキー賞、最優秀演奏家賞受賞

1992年～現在 ベルリン・フィル、ロンドン響、バイエルン放送響、フィレンツェ歌劇場、MET歌劇場などの欧米の主要オーケストラの首席奏者や歌手たちと国内外で共演。世界各地でリサイタル多数。

ご主人の小澤富士夫氏は、東京芸術大学のトランペット科を卒業後、プロの演奏家として活躍。その後ヤマハで新製品の研究開発業務に携わり、ヤマハ・フランクフルト・アトリエの室長として長年ヨーロッパに赴任。

帰国後の2001年、仕事ににくも膜下出血を発症、後遺症として高次脳機能障害（記憶障害、無気力症、認知の諸問題）が残る。

高次脳機能障害を治すためサバティカルを利用して、1年間ご主人とともに米国に滞在し、ニューヨーク大学Rusk研究所「脳損傷通院プログラム」に通う。ご主人は奇跡的に回復し、一人で大阪に出張できるほどになった。